（五日夕刊）
磐城新聞
休刊　大祭第一第三日曜
定價　壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵稅十錢
廣告料（雜報欄行五十錢　但所指定三十錢增）
發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔
發行所　福島縣平町平町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

闇にも光がある

小林金太郎

人は一たい何のために生きてゐるのか？起きては働き、疲勞と倦怠と不滿とより外には何ものをも得ることが出來ず、めぐり行く時の流れの、めまぐるしい速度に唯過飲の後の如き焦燥を感ずるのみである。山積せる書籍、果して何者ぞ。燃ゆる希望と出世と榮達とが、何れ等私を人間らしくしてくれようぞ

×

私の一呼一吸は直に宇宙の大に關してゐるといふけれどもその本當に自分といふものの孤獨を凝視する時、私の死と生とがどれ程の響きをこの宇宙に與へるのか？

私は或は宇宙間に、有機的に神秘的に結合を持つてゐるのかも知れない。しかし、さうであると直觀すればする程、いは〳〵深く私といふものの孤獨を味せられるのである。

×

私共は、てんでに全く違つた或ものを考へてゐる。たとへ、親子の間でも、それは否むことは出來ない。愛人の間でもさうであると思ふ――形ちの上の結合、そして魂に於ける全き孤獨それはどう考へて見ても人間の「淋しい生」を思はせる

私は時々山に登る。山頂の無限の靜寂は私の魂に消い想ひを湧かせる。

×

たつた一人になつて、靜かに山の道を登る私。やぶかうじの葉をかみながら、山麓にかかる靑い靄を透して、噴水の如くに逆る、私の魂の聲を聞いた。あゝ想ひ出よ！お前は一たい何ものなのか？

想ひきは想ひ出、消きは徒ひに、そして又、人生の淋しさに一點の恬火を與へるのは思ひ出

×

想ひ出程美しいものが、他に又とあらうか？それは時に過去にたける堪え難い羞恥であらうとも、惡事であらうともそれらが想ひ出の焰の前にぼんやり光る時は、原始的な熱情を私の心に喚ぶ起すのである。

未來は一切が未知である。そこには希望も、野心も不安も横たはつてゐるけれども、それは兎も角未知であるけれども、想ひ出ばかりは眞實から湧ぎのぼる炎ではないか。

×

想ひ出に浮かぶ人は皆なつかしい。皆美しい。皆淋しい、しかしそれらの人々は、たとへ強烈な孤獨的感情より眺めても、どれにもどれにも、不思議な愛執を感じずにはゐられない

×

想ひ出は古い程なつかしい。

それば、遠いカナリヤ島の女の情熱的な戀に似てゐる。

それは、一さいの繋縛から解放された夢であり特有な藝術的要素である。

それは又、一さいの人工を超越した美しい色彩をもつてゐる

それは又、一切の音樂以上の言葉を持つてゐる

×

晩年、頽廢と失意と貧窮とに沈められて薄ぐらく、濕つぽい裏店の貸間に住まねばならないようになつても、しけ〳〵ラテン區のプラッスリーに足を運んで强いアブサント酒・醉ひつつもランボーや若き日の戀の想ひ出に耽つたヴエルレーを考へて、私は熱涙を浮べる。

×

たゞ私の美しい思ひ出ひ而して未來に希望を持てなくなつた時生も死もせもに、無意味になつた時その時、私は想ひ出の野火を焚いて、熱い涙を透して、返らぬ過去を顧みるのだ。

その時は、やがて想ひ出の中に入るべき「今」といふものに無限の愛着を感じる

磐新顧問

（照合を歡迎す）

腋の下の腫物●●●●　十八の女ですが、二日程前から急に腋の下に腫物樣のものが出來少し瘤になつて來ました親指位の大きさで一寸赤く押すと痛く堅いのです、手術する程な心配はないでせうか（久保）

毛穴から黴菌が入つて化膿したものかそれとも淋巴腺がはれたのか判りませんが、早い內から濕布をしただけで癒りますし進んだとしても手術と云ふ程の事をせずとも膿を出せば癒ります

左きゝらしい●●●●　生後一年六ケ月の男の子、非常に健康ですが、何をするにも左手を主に使ひ、どうも左きゝらしいのです。左きゝはどういふ原因から起るもので何か精神に缺があるのではないでせうか、治す工夫があれば（みつる子）

左利などは決して腦に缺陷がある爲ではありません、習慣ですから度々やかましく云へば次第になほります

食前喫煙の爲か●●●●　私は毎朝起きぬけに先づ喫煙する習慣がありますので、そのせいではないかと思ひますそれは昨今どうも頭の工合が變なのと、朝食がうまくない氣持かするのです、若朝の喫煙が原因とすれば何とかせねばならぬが數年來の習慣ゆゑ差間へないでせうか（忍）

御考への如く朝食前の喫煙が最大原因と想ひますこの儘お續けになつてはだ癖になりませせん、食後になさい、これは數名り實驗談です

※明日の吉凶※

舊曆八月十一日
新曆九月六日

▲一白　未だ全く平安の域に達せず萬端注意すべし▲二黑　氣を締めて掛れば大に引立てらるゝ大吉日▲三碧　手數のみ掛りてもその割合に利得に薄き日▲四綠　人を倚賴りにする時は事々に外れ勝となる▲五黄　朝の氣心は惡くとも奮闘の効大に現るべし▲六白　不注意より過誤を生じ來ることあり進は凶▲七赤　天窓ばかり先に出でゝ足の思ふ樣に進まぬ日▲八白　男氣を振作して勵むときは大底の事は成る▲九紫　自らを知りて高ぶらざれば榮達を見るべし

講談　[illegible]

（131）

高橋掬太郎創作
布施平八郎揮畫

魔の手

天狗の假面の怪人の出沒のために昌康と其の一味の者は激しい恐怖に拘はれた劍道指南役の吉村玄蕃が討たれ立札で募集した浪人達も大根でも切つて捨てるやうにもろくも捨てられてしまつたのでもう怪人に刄向かふ者がないといつて打ち捨てておけば怪人はいよ〳〵昌康の身邊に近づいて來るにちがひがない。殊に妙高寺に預けた千世姫も十八才になつたのでこれを擁して復讐の企てをする者がないとも限らぬ、昌康初め重太夫も軍治ももう油斷が出來なかつた。不安の黑雲が重々しく頭上に垂れこめた。

「重太夫」

「ハッ！」

「油斷のならぬ狀態になつたではないか」

昌康は不安滿ちた聲であつた。

「御意でござりまする」

重太夫の聲も恐怖に滿ちてゐた。

「それについて打ち捨てゝおけぬは妙高寺の千世姫のことぢや」

「はゝッ」

「何者か判らぬが彼の怪人は我等を狙ふ曲者さすれば千世姫を擁して事を舉げるやうなことがないとも限らぬよつて千世姫を今の中に何んとか致さねば相成るまい」

「仰せの通り拙者も考へて居りましたが最早奥方とた約束の十八才の春を迎へた故に速かに髮を剃らせ黑染の衣に替へるやうに致したがよいと存じまする尼僧となつて佛門に入つた上は主君に刃向ひ復讐しやうなどといふことはござりますまい」

「いやそんなことは定にならぬ如何に佛門に歸依せばとてえ俗は何時でも叫ぶこと少しも油斷がならぬぞ」

「成程然らば何んといたしませうや」

「それにはよい一策がある近う」

と昌康は手招した

「はッ」

と答へて重太夫は耳を寄せた。そして互に目を配りつゝ昌康は重太夫の耳に何事かを囁いた。

「はゝッ」

「よいか」

昌康は念を押した。

「はッ相判りました」

と重太夫はにつこり笑つて領いた。

「妙計であらう」

「左樣でござりまする、敵を利用して敵を討つ妙計感服仕りました」

重太夫はさも感心したやうに賞讃した

「然らば速かに準備をいたすがよいぞ」

「はッ承知仕りました」

重太夫は城を退つて我が家に立歸ると使の者をやつて川越軍治を呼んだ」

「早間殿何か急用で？」

と軍治は急いで來た

「余の儀ではないが主君よりの御申附けぢや」

「はあ――」

「妙光寺に預けてある千世姫の身の上についてな――」

と重太夫は軍治に何か囁いた。

「はゝア成程――」

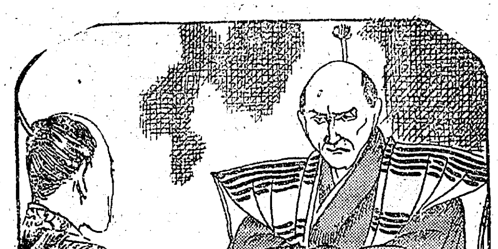
軍治は領いた

「早う腹心の者を集めて今夜のうちにやつて頂きたうござる」

「承知仕つた」

川越軍治は我が屋敷へ立歸ると腹心の者を七名集めて重太夫から傳へられた何か秘密の仕事を命じた

七人の者はうなづいて姿を消したがそれは千世姫に對して何か危害を加へやうとするものにちがいなかつ



片濱自動車運轉
平、高久、豊間、江名
停留所
一丁目小川屋、四丁目泉屋
新川町松崎硝子店、月見町白土屋
月見町一二三屋、江名山口屋
電話…二一七番 一四二番（御三人以上はお迎ひに參上致します）
平町四丁目和泉屋旅館前
鈴木　片濱自動車商會

內科
小兒科
皮膚科
花柳科
平町舊城跡（城山）
靑沼醫院
醫學士　靑沼洪夫
電話四〇三番

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門
平南町
上田外科醫院
電話一二九

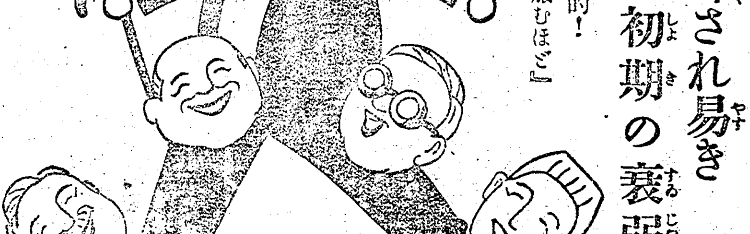
良品廉賣に勝る商略なし
磐城平町五丁目
磐城セメント株式會社特約代理店
和洋銅鐵金物問屋　(久)　釜屋商店
諸橋久太郎
電話九一番 一三九番
振替貯口金座東京一〇九五六番
確實敏捷は(久)の生命なり

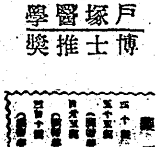
ホシ胃腸藥

胃腸藥
星製藥
ホシ胃腸藥
호시위장약

靑麻山
中風靈藥
定價一週分九〇　二週分一、七〇　三週分二、五〇
動脈硬化症、腦溢血、半身不隨、言語難澁、其の他中風より起れる諸症に偉効を奏す
……是非御試用を勸む……
代理店　平町五丁目角　山野邊藥局

生殖機能は
健康の中心
精力の源泉
閑却され易き
初期の衰弱
『これは素的！服めば服むほど』
トッカピン
生殖機能が――衰弱すれば全身衰弱して、[illegible]遺精や早漏[illegible]の徴候に[illegible]、直ちに召せ、トッカピンを
神經衰弱が――原因で罪を犯し、神經に異狀を來し、落伍者となり、甚だしきは自殺するものさえある！何といふ淋しい現象であらう。[illegible]トッカピンを服んで直ちに[illegible]を…
不眠症――一晩の不眠がされ程身心を疲らすであらうか……二日三日と不眠が續けば身體は綿のように疲勞する、何んとかして快い睡眠を求めたいといふ人にトッカピンは眞向きです
精力增進――生存競爭は日一日激烈となつて行く現代に「力」がなくて何が出來よう…百萬圓の金よりも儲きは健康精力である。霜葉の如く清新なる活力を求むるものは服め！





戸塚醫學博士推奬
藥價 [illegible]
發賣元
東京市麴町區新材木町六番地
振替口座東京七二二二番
丁子堂藥房
大阪市西區立賣堀北通二ノ九
振替口座大阪[illegible]
◎全國到る處の藥店にあり

絶對樂觀を容さぬ
政友の四候補
井上氏は殊に苦戰の色
石城縣議戰々況

石城郡に於ける縣會議員選擧戰は去る三日の縣の告示があつて以來俄かに緊張し政、民、中の各候補者は一齊に活潑の火蓋を切つた、政友會は今五日までに鈴木辰三郎、井上茂作、山崎吉中、古川傳一の四氏共に立候補屆出並に一切の公式手續を了し民政黨は明六日中に何れも手續を履む事となり各炭礦を代表して立つた中立青沼鉾太郎氏並に民政黨中舊憲政會系の健全分子多數から擁立された田子英吉翁の息田子健吉氏は今五日勿來町に於ける政見發表演説會を皮切りに全郡民政黨の地盤に喰入る準備一切を了したものの如くである、政友會は飽くまで郡民の味方となる粒選りの候補者を揃ひ賢明な選擧民の理性の判斷に愬ひ全勝を期すべく步武堂々逐鹿戰場に立つたが候補者の地盤關係から最も苦戰を豫想されるものは井上茂作氏である、此の前の選擧は平、內郷の小選擧區制で絶對勢力ある政友會が全力を擧げたればこそ物の見事に政敵本田織江氏を一蹴し得たが今回の選擧は政友會候補者が德義上井上氏の地盤に喰して手を緩める際に乘じ民政黨は井上氏の爲め不利益な各種の宣傳と手段に吸々たるものがあるみで日頃井上氏の縣政に對する熱誠と手腕を認めてゐる町民多數は井上を落すな若し彼れを落選せしめる如き事あらば平町民の損失であり恥辱であるとて旺むに井上援護の聲が頗る高く同然翕然たるものあるから日ならずして勢力を盛り返すであらうが餘程の苦戰であり鈴木、山崎、古川の諸氏も實質は世間の噂するほど樂觀し得るものでない模様だから此の際充分の警戒が必要であらうと觀測されてゐる、何れ縣議戰は來る十日頃から血湧き肉湧る猛烈な戰端が開かれるものの如く結果は極めて重大視されてゐる

湯屋で盜む
入山坑夫取調中

當時湯本町入山炭礦長屋居住坑夫双葉郡新山町字石熊生れ業染金太郎（二七）は去月十一日午後七時頃同町湯屋備中屋事島崎三五郎方の脫衣場で脫衣籠の中から同町字辰の口居住鈴木正義所有の現金拾九圓餘入りの蟇口一個を竊取し何喰ぬ顏で居たのを平署刑事に探知四日午後五時頃自宅で逮捕されたが餘罪ある見込で取調中

若人の肉おどる
青年体育大會
きのう磐中グランドで
各種競技の記錄

石城聯合青年體育大會陸上競技會は四日午前九時から磐城中學校グラウンドにて行はれた、十月二三の兩日郡山市において開かれる縣下青年體育大會に出場すべき代表の選手を決定するといふことだけに朝來非常に緊張し二百餘名の青年はいづれも今日の榮冠を得んと場內に繰込んだ定刻唐木田團長の開辭小野委員の注意があつて續いて合同體操に移り後競技に移つたその結果左の如し

▲柔道　一等青天目源一郎（平町）　二等關內甚平（平町）三等片寄秀士（四倉）

▲走巾飛び　一等金澤輝一（平五米三十七）二等安齋早太郎（好間五米二十八）三等坂本智重（草野五米十六）

▲走高飛　一等金澤輝一（一米四四）二等坂本智重（一米四〇）三等吉田寅治（好間一米三三）

▲一萬米　一着西家幸三十八分四十秒二着大江川遠平（藤原）三着磯目銀雄（好間）

▲砲丸投げ　一等矢吹典平（平窪）十米六〇　二等阿部文雄（深渡）九米九〇　三等鈴木幸（玉川）九米八〇

▲百米突決勝　一着鈴木安治（高久）十二秒五分二　二着高野政治（小名）三着工藤禮二（大野）

▲四百米決勝　一着齋藤安之助（大野）一分五秒一　二着江尻忠平（平窪）三等早田源（玉川）

▲千五百米決勝　一着星野喜一（夏井）五分十秒一　二着泉美一（好間）三着芳賀巖（川邊）

▲八百リレー　一着小名濱（吉田、高野、齋藤、坂本）

▲劍道　一等薬谷久太郎（高久村）二等志賀隆男（好間村）三等野田章（好間村）

▲相撲　一等松田準一（好間）二等古市應（好間村）三等鈴木福太郎（豊間）

▲二百米決勝　一着工藤禮三（大野村）タイム二七秒、二着鈴木安次（高久村）三着齋藤安之丞（小名濱）

豐間海岸を漂ふ
船に疑問の遺書
小言を敎育と思ふ
父母に涙の諫言

豐間村字薄磯漁夫鈴木安吉（四）は去る二日正午頃同村合磯海岸に繫留してあつた傳馬船の中から左の如き女文字の遺書一通を發見し驚いて同村巡查駐在所に屆出たが一方同日午前中同海岸附近を何か物想ひに沈みながら徘徊してゐた妙齡の婦人があつたのを見かけた者があると言ふのでテッキリ自殺したものと睨み同村青年團消防組總出となつて附近海岸を搜查したが屍體は未だに判明しないため何者かの惡戲ではなからうかとも言はれてゐる遺書は女文字で而も中々達筆に洋紙二枚に青インクを以て綴られ

生れてこの方人は何を求めて生きて來たか（中略）わたら死を免れて涙に月きんよりは神に歸る事を私は喜んでおります、父母樣私は此の強情な心に打かつ勇氣のなかつた不幸者とおあきらめ下さい私が死んだなら必らず平和な家庭になつて皆樣は喜の朝夕が迎ねえられませう私は家庭に取つては最大な惡魔でした旅から旅を步んでゐた私は何時こんな變屈者になつたかさへ考へられぬ樣な人間なのです父母樣小言を敎育だと思つては間違いです小言を受ける者は一ッ一ッ涙一稱に心に歷世を感じます（原文のまゝ）

選擧長更迭
尾戸事務官に

石城郡選擧區選擧長であつた地方事務官中川陸司氏は三日退官したので、その職を失ひ、代つて茨城縣より轉任の尾戸治作氏が左の如く指定された

地方事務官　尾戸治作

昭和二年九月二十五日執行すべき縣會議員選擧に於ける石城郡選擧區選擧長に指定す

擧動不審の男
實は大曲者
平署で取調中

平町南町街路を四日午後五時頃通行してゐる擧動不審の青年があるのを平署青田部長が發見本署に引致取調た處此奴は常時住所不定無職竊盜前科二犯神谷村大字上神谷生れ椎野正一（二二）で昨年十二月廿四日午後六時頃湯本町字八仙入山炭礦長屋高久七三郎方の留守宅に忍入り絹織棒縞婦容男羽織二枚現金十四圓入蟇口一個其の他數點價格約五十餘圓を竊取逃走し平町及湯本町等で何れも遊興し費消してゐた事を自白したが尙餘罪ある見込で指紋を撮つて各署に照會中

人氣の焦點に立つ
平町へ東京大相撲
太刀光と清瀨川とが
本社の懸賞角力

太刀光

東京大相撲西ノ海、宮城山一行百數十名は北海道巡業をの歸途來る八日平町に於て一日限り興行をする旨既報の通りであるが日取りを一日延べ九日早朝より櫓太鼓の響きも勇ましく元郡役所跡の廣場に於て景けんな角力を競ふ事となつた、今回の如き横綱大關の顏合せ巡業は地方にとつて稀有の一大壯擧で彌が上に好角家連の人氣を煽つてゐるが本社は當日の番外相撲として人氣者の太刀光と清瀨川を取り組ませ之の勝負を懸賞として勝つた方に花輪一對を贈る事とし既に本社新調の右懸賞花輪は平町二丁目柏屋モスリン店のウヰンドに陳列してある、秋色やうやく深からんとする身にも壯快の氣湧く好時機を此の大角力の懸賞は一段と氣分を拍熱化さしめてゐるが當日一行の重なる取組は左の如くである

清瀨川

西ノ海　宮城山
錦洋　清瀨川
星甲　阿久津川
朝風　綾錦
白岩　太郎山
立汐　乙女川
常陸岩　太刀光
山錦　眞鶴
一ノ濱　東關
寶川　男女川
晴ノ海　幡瀨川
汐ケ濱　岩木川

貴樣生意氣
檢事局へ告訴さる

石城郡磐崎村大字長倉、磐城炭礦長倉坑勞務主任前田清臣（五五）及び係員鈴木清（三八）の兩名は去る八月二十九日午後六時頃炭坑々夫齋藤丈助（三七）が妻のアサヨの退職手當を請求に行つた際「貴樣生意氣だ」と威嚇に矢庭に丈助をねぢふせなぐつたり蹴つたりしたので頭部その他數ヶ所に全治十日間を要する傷を負はせた爲め二日丈助は憤慨のあまり診斷所を添へ平檢事局まで毆打傷害の告訴を提起した

線路工手重傷
機關車に觸れて

內郷村綴驛構內鐵道社宅居住相馬郡小高町字川原田生れ線路工手金谷昇（二八）は三日午前十時半頃同驛構內宮通路踏切から約十五間南に白水線々線路に砂利敷工事に從業中平機關庫機關手鈴木富藏が運轉して來た貨物四百五十五列車に觸れて胸部、打撲傷前額部に裂傷其の他全身に重傷を負つて昏倒したが生命危篤である

永戸青年行軍

永戸村大字合戸青年團では神佛山宗拜の念を涵養し更らに体力の充實を計る目的で三日正午から上小川村二荒山に行軍登山した

前年の同期に比し
預金一割五分增
各種事務とも殖ゑる
平郵便局の昨今

平郵便局の各種取扱事務は逐月增加を見せ町發展の長足さを想せるに充分であるが去月中の如きは前年同期に比し全部を通じて約一割五分に近い大激增を見せてゐる即ち電報電話の增加は不景氣の聲の中益々殖ゑ貯金の預入れが口數二九一二口金額五萬三千二百九十九圓餘で前年より二萬餘圓の大增加はその意外に驚ろかされ拂渡しが四萬一千九百六十二圓と前年と大差ない處から見て昨今の當地方が漸次好轉してゐる證を裏書きしてゐる前年同期との對照を示せば普通郵便物四四四、八一七通で五一五〇一通增加電報八二六九通で一七五通增加電話五四五　六六〇と五一、〇二三の增加、爲替口數一四二四一二口四萬一千六百八十圓拂渡一六一一九口三萬二千五百三十五圓、貯金受入二九一二口五萬三千二百九十九圓拂渡一一四八口四萬一千九百六十二圓等が益々大多忙を極めてゐる

待合室專門
賊平吉逮捕

宮城縣柴田郡金ケ瀨大字小生れ當時住所不定無職鈴木平吉（三六）は二日午前八時頃双葉郡富岡驛待合室で有主不明の傘一本を竊取し四日午後五時頃平驛待合室で一稼せんとしてゐた處を平署柴崎刑事に發見逮捕されたが見かけ倒しの小泥棒らしく去月中新潟縣西頸城郡青海村電氣科學瓦斯會社內からゴム長靴一足を竊取した旨自白した

郡下校長役員會で
女子青年設立
併せて兒童の個性調査
可否如何を討議

石城小學校長會では八日午前十時から平第一小學校內に役員會を召集し予て問題となつてゐる郡聯合の女子青年團設立に關する打合をする事となつたが縣當局も此れが設立には多大な讚意を表してゐる折柄とて今回同會の成行によつては直ちに設立の具体化を見るは當然で各方面から注目されてゐる尙同役員會の席上小學兒童の個性調査並に成績査定に關する打合せもする筈である

永戸納稅表彰

永戸賓輪組合村では優良納稅者として合津保見氏外九十六名に對し今五日午前十時から組合村役場に表彰式を擧行した

平禪學會例會

平禪學會例會は今五日午後七時より磐城銀行樓上に於て開會一般來聽を歡迎すると

郡教育部會の
北海視察員
三名派遣決定

石城郡教育部會では三日午前十時から平町平第一小學校內に臨時役員會を召集し今年度北海道視察教育部會派遣職員を次の如く決定した

△平窪小學校長長谷川親△入遠野小學校長大平喜一郎△夏井小學校訓導鈴木篠松

鎗と鐵砲
（投書歡迎）

農村と都

◇農村の青年子女が、都會の青年子女から輕蔑される――私は、これに就てよく憤慨させられるのであるが二三日前の夜、平町の街路に於て不良らしい二三人連れの青年が腰に手拭を下げ扇を同じく腰にさし込んで步いてゐた農村の青年らしい一人の若者の後姿を指し『見給へ手拭……扇……』などゝ言つて嗤つてゐた態度をまのあたりみせられ、茲に一言物言はねばならぬ責任を感じた

◇田舍者が都會人に比し粗野であり、從つて禮儀作法を辨へず、概して知識に乏しい事實、容貌と言ひみなりと言ひ、決して美しからぬどころか寧ろ醜と言はねばならない有樣であることは否定出來ない。けれども、此等の短所あるため、同じ同胞から何故異邦人扱ひをされねばならぬのか。而も此等の事實は職業環境、風習歷史の左右する所で、一個の青年に何の咎むべき所があらう

◇默つて彼等の長を見んと努めよ、彼等の生活の野趣横溢する處には、幾多人間本來の美しい情景が見られ變質を來してゐる都會人の大に學ぶべき點があるのである

◇殊に彼等の社會的貢献を言ふなら、直接生産に從事する彼等の前に、都會人は一步を讓つてもいゝではないか、殊に今日の農村の狀況を考察するがいゝ酬いられぬ彼等の勞力を思ふとき、彼等に對して一掬の淚なき能はぬものがあらう

◇事もあらうに、さ末事である服裝抔に就て社會に害毒を流しつゝある青年輩より侮蔑を受け言ふことも爲すこともならぬ物優しい一農村青年のいとほしさを思ひ一言肩を持つた次第である（木村秀夫）

平町田町
高久病院
電話五一三番

謹告
平新聞と稱する新聞社が弊店と關係あるかの如く誤解されてゐるやの向きありますが弊店は單に印刷請負のみで同新聞の組織經營には絶對無關係ですから誤解なき樣願上げます
平町田町
一○活版所
椋木正喜

創業三十週年紀念謝恩
自信アル一の井洋食普及デー
九月一日ヨリ向一ケ月間勤致します
高級洋食
一品金十五錢均一
洋食宴會
仕出し
平町田町
一の井
電一六七番

平町田町
高久病院
電話五一三番
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽淸
藥劑士　佐竹菊雄
內科小兒科、外科花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科

入院隨時（自炊の便あり）
耳鼻咽喉科專門
大和田醫院
平町南町（電一七〇番）

營業種目
內地材
材木各種、羽柄材各種
建築諸材請負
礦山用坑木其他諸材請負
外材部
米松、米杉、大角製材調達
請負　其他
佐藤材木店
常磐線平町　新川町
電話　三三五一番